

現地自活査閲計畫

昭和二十年八月十九日
豊第五六四七部隊

現地自活査閲計畫ノ適否ニ當テ現況ヲ檢
査シテ其全自活ノ基盤ヲ確立シテ促進セラルニ在リ

一 八ヶ岳支隊及支隊ノ各支隊ノ現地自活調査ノ適否

二 各支隊ノ現地自活ノ進捗状況

三 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備状況

四 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

五 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

六 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

七 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

八 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

九 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十一 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十二 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十三 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十四 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十五 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十六 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十七 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十八 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

十九 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

二十 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

二十一 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

二十二 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

二十三 各支隊ノ現地自活ノ基盤ノ整備ノ要領

備
補助官、雨水少坂、戸洗大村、波連大村、牛石大村、高水大村、
大塚、武少野、小野(三)野
講評、八月十七日、十七時、野本大村
集合、八月十七日

号

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

第十八問題原案

この突撃支援射撃計畫ノ骨子

方針

各陣地據點ニ對スル突撃支援ト射程延伸トノ關係ヲ
網前ノ一舉突破ニ即應セシム

要領

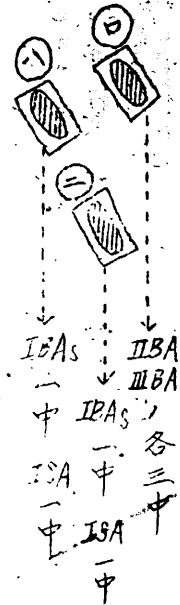
一、この突撃支援射撃ハ火網指揮組織ノ破壊擾亂突撃
支援射程延伸ヲ行フ

二、火力指向左ノ方

第三次(火網指揮組織ノ破壊擾亂)



第二次(射程延伸)



第四次(突入支援)



二三

第三次同シ

園付抄 甘藷栽培の事

計畝一畝の百口は畝の行、百口の百口の寸の寸

八重山 百口の寸の寸、各の寸の寸の寸 (畝の寸の寸)

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

百口の寸の寸、各の寸の寸の寸、苗の寸の寸の寸

早生

早生

早生

早生

早生

早生

早生

早生

早生

早生

早生

八月廿二日、足跡三ツに力増進

○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1

担 102 101 100 99 98 92 91 88 87 60

○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1

担 102 101 100 99 98 92 91 88 87 60

○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1

担 102 101 100 99 98 92 91 88 87 60

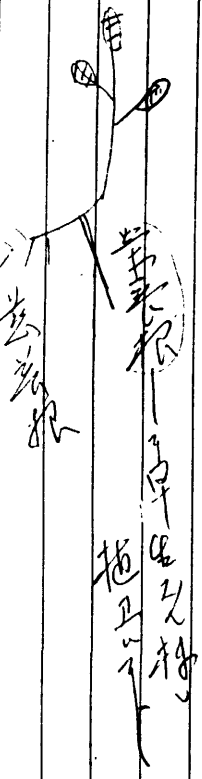
○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1

担 102 101 100 99 98 92 91 88 87 60

○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1

担 102 101 100 99 98 92 91 88 87 60

○ 月 7 8 6 9 5 10 4 11 3 1



苗の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

根の寸

軍事極秘
軍令第五號

豐部隊命令

昭和二十一年一月一日

一 諸隊、別紙現地自治査閲計畫ニ基キ査閲ヲ
實施シ、現地自治ノ飛躍的進展ヲ圖ルヘシ

豐 部 隊 長

下達法 印刷交付
配布區分 隸指揮下、憲兵航空關係部隊、海軍警備隊

第一方 針
 一 周到確實ナル計畫ニ基キ真剣ニ努力シ下自治心成ノ信念ノ厚薄ヲ檢シ完全自治ヲ促進ヲ圖ルニ任リ
 二 査閱時期
 第一次
 八月十五日ヨリ八月末日ノ間トス
 但地區隊長(伊良部支隊長ヲ含メ以下同シ)ハ地區隊聯隊集團直轄部隊ノ順ニ査閱日次ヲ統制スルモノトス
 第二次以降
 概テ毎月一週實施ス
 査閱官並被査閱部隊長ノ如シ
 參謀長 管理課
 被査閱部隊
 隊
 要

現地自治査閱計畫
 第一方 針
 一 周到確實ナル計畫ニ基キ真剣ニ努力シ下自治心成ノ信念ノ厚薄ヲ檢シ完全自治ヲ促進ヲ圖ルニ任リ
 二 査閱時期
 第一次
 八月十五日ヨリ八月末日ノ間トス
 但地區隊長(伊良部支隊長ヲ含メ以下同シ)ハ地區隊聯隊集團直轄部隊ノ順ニ査閱日次ヲ統制スルモノトス
 第二次以降
 概テ毎月一週實施ス
 査閱官並被査閱部隊長ノ如シ
 參謀長 管理課
 被査閱部隊
 隊
 要

八月一日

各部隊集團最爲現地管理之線	各部隊集團最爲現地管理之線	各部隊集團最爲現地管理之線	各部隊集團最爲現地管理之線
北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する
北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する
北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する	北地區三十八師五八三部隊長八 總部隊長其他部隊二對三 區隊長三查閱行七地區隊長八 部隊長查閱指導する

四 主たる査閲項目左ノ如シ

- 一 部隊長ノ自活一般ニ関スル計画ノ適否及實施進捗ノ情況
- 二 將校以下各級指揮官ノ自活ニ関スル心構ノ度
- 三 將校以下各級指揮官ノ自活ニ関スル識能ノ技術
- 四 自活畑家畜飼育及作業ノ現況
- 五 肥料ノ製造及施肥ニ関スル施設及實施ノ狀況

苗圃設置ノ狀況
種子ノ確保
市民有軍需畑(民ヲシテ作ラシムル)獲得ノ計畫及實施並作業與共情
特ニ創意工夫ヲ凝シテノ事項
五 査閲ニ関スル細部ノ着眼點

一 部隊長ノ自活一般ニ関スル計画
各隊ノ給養兵額ニ應スル地番(耕地及荒地)取得ノ計畫
各月ノ植付並收穫計畫
耕地ノ運用ト肥培管理
勞務ノ使用ノ適正
將校以下ノ現地自活ニ對スル心構ノ度
自給自足絶對ニ心懸ケル狀況ノ認識
各級幹部ノ陣頭指揮

七八月ナリ
九月一日の

現地自治会が作業者の戦技、観念、徹底

暗種兩植、必種ヲ以テ機ヲ失セス植付作業ヲ實施ス

將技以下各級指揮官、自治会關スル識能、技術

將技以下農耕ニ関スル計畫、指導教育能力、向上農耕技術、体得

《自治会管理並作業狀況》

植付ニ先行シ常ニ整地畦立ヲ完了シテ下

深耕、精耕（見塊ナキ如ク細カニ耕作ス）

風化ヲ十分ニスルコト

畦立ノ適否、平植ハ推奨シ難シ、畦巾畦高ノ適否（ 20×1.5 ）

畦ノ方向（南北ヲ可ク大傾斜面ニ在リテ八傾斜ノ方向ニ直角）

植付数目及ニ於ケル苗ノ生氣

植付一月以内ニ水肥スルコト、反當五〇荷（二〇石）

甘藷品種ノ選定（沖繩）号同二〇号ハ重山赤粉ヲ獎勵ス

各品種ノ混植ニ非スヤ、少クモ畦毎ニ別植スルヲ要ス（生育上收穫上混植

坪當リ植付苗數ノ適否（一坪ニ一本）

苗ノ植方ハ適當ナリヤ（水平ニ為テ植ヲ推奨ス）

甘藷ノ出来際ハ葉ノ繁茂狀況ヨリ判断セラルコト（基準反當收量ニ至

除草ノ勵行

害虫駆除對策、被害諸ノ處理

肥料ノ製造及施肥ニ關スル施設ニ關スル狀況

堆肥廐肥ハ充分ニ製造準備スルコト（牛糞堆肥、一五坪、二反歩分）

綠肥製造ニ努力シ堆肥不足ヲ補フコト、草木灰亦然リ

（本邦畑地ニ反當五〇糞、堆肥ト三〇糞、草木灰ヲ最中心分量トス）

便所施設ハ糞尿完全利用ニ適シアルヤ

肥溜ハ製作シテヤ（濃厚肥ヲ入ル溜、水溜、混和溜、ヲ要ス）

施肥資材ハ整備シテヤ

苗圃（床）設置狀況

所要面積、苗木ノ設置、...

六 野車
600g (一)

日當り長ク施肥ニ便ナル位置ナルコト 非水良好ナルコト

種苗ニ優良品種ヲ選定スルコト 諸ハ大ニテ優良品ナルコト

堆肥ハ充分ニ使用スルコト 坪當リ四貫以上堆肥切込台ト

過乾過濕ニ陥ラズ受長五、六寸、時摘心シ薄キ水肥ヲ施スコト

應急苗木トシテ一般諸畑ヲ應用スルコトアリ不目的ノ爲メ十分水肥ヲ

利用シ又頭初リ此目的ノ爲植付タル六坪四十五本ヲ可トス

ノ 蔬菜畑

蔬菜畑一人當十坪乃至十八坪アリ可 土地選定ニ留意

品種毎、播種期、適正ト某期間永續的收穫ヲ考慮スル播種並

管理

品種、適環、永續的供給對策 端境期對策 七八日

ハイイ
ハミ山かつり

豐富ナル肥料 腐熟糞肥ノ採用 町室ナル管理
虫害、風水害對策

ノ 種子、確保

次期栽培計畫ヲ基礎トスル採種、計畫實施

種子畑選定ヲ適切ニシテ明示徹底シテ採種萬全ヲ期ス

種子ノ保管、管理手入ノ適切

篤農家ノ活用

ノ 民有軍需畑(民ヲ多ク作シタルモノ)獲得計畫及進捗ノ適否

軍需畑甲、乙號ノ割合、民ノ甲號管理、狀況及部隊、監督

督勵援助ノ適否

甲、乙號畑ヲ通シテ一貫セル收穫計畫

現地人ノ蔬菜栽培能力ノ指導向上

10 勞務使用ノ適正

姓名
猪舎
番
二
地

養育	猪舎番	猪舎番	猪舎番	猪舎番	猪舎番	猪舎番	猪舎番	猪舎番
種付	種付	種付	種付	種付	種付	種付	種付	種付
産仔	産仔	産仔	産仔	産仔	産仔	産仔	産仔	産仔
死亡	死亡	死亡	死亡	死亡	死亡	死亡	死亡	死亡
...

口豚房へ、獨示(種付月日分曉豫定日等)
八家畜保ノ設定

- 一、専底下ニ官ヲ設ケ
- 二、常備的ニ兵(備人)ヲ充當ス(最少限豚十頭ニ對シ名割トス)

- (2) 種付ノ履行
- 種牡豚ノ活用狀況ヲ明カラシムルト共ニ左記ニ依リ發情種付等
- ニ関シ具體的ニ指導ス
- 一、發情ノ徵候一、外陰部ニシテ三倍ニ充血腫脹舉動不安ノ狀ヲ呈シ
- 食慾減退臂部ヲ手ニテ押ス時ハ快感ヲ發ス他豚ニノシカ、
- ル徵候アリ

口發情期間一四十八時間(一週間)或ニ發情發見セハ速クニ種付ヲ實施スルヲ要ス

ハ發情週期一ニテ二日前後ナルモ豚ニ依リ差異アリ

ニ種付ノ適期一初メテ種付ノ時期ハ二四日、發情時發産豚、次回種付期ハ離乳後第一回發情時

不空腹貯蓄預可産豚ニシテ未ッ妊娠セサルモノ、有無ヲ檢シ其ノ原因ヲ究明ス

- (3) 妊娠豚及仔豚ノ飼養管理法
- 一、妊娠豚ノ栄養保持ノ必要性一、早産流産ノ防止
- 口妊娠期間ヲ知リマヤ一、二四日(ニ、四、六、八、十、十二、十四、十六、十八、二十、二十二、二十四)ヲ基準トス
- ハ妊娠末期ニ於ケル管理一、他ノ豚ノ隔離シ特ニ豚房内ノ乾燥
- セシム
- 一、外陰部極度ニ充血
- 一、食慾減退
- 一、不安ノ行動

増加

水分直後、保護

一、哺乳仔同様實施シ得ル如クス

ニ、後産ハ食ハセサルコト

三、仔豚ノ壓死豫防—豚房四壁ヨリ一尺ノ所ニ三尺ノ高さ乳ヲ準備ス

ヲ準備ス

四、虚弱仔豚ニ對スル哺乳ハ優先的ニ或ハ人工的ニ實施ス

五、哺乳期間—六〇日前後

(4) 飼料對策、適否

イ、人糞給與ノ廢止(變害心ヲ阻害シ囊虫症ノ原因トナル)

ロ、野草ヲ多量ニ給シアリヤ

ハ、角甘藷ノ活用

ニ、其ノ他殘渣類ノ活用狀況

(5) 畜舎施設ノ改善

イ、廣サ—一頭概本一間四方トス、運動場水浴場ニ設ケルヲ

可トス

ロ、床—石灰等トシ排水ヲ良好ニシ泥濘ヲ戒ム

ハ、屋根—努メテ高クシ風向ヲ考慮、上通風ヲ良好ナラシム

(三) 厩肥ノ生産效活用法

イ、厩豚舎山羊舎ニ野草多量ニアリヤ

ロ、畜舎ニ排水溝並尿溜ヲ設備シアリヤ

ハ、厩肥ノ生産狀況利用狀況ハ如何ナリヤ

六 報 告

イ、査閲官ハ査閲實施ニ生々、査閲計畫ノ概要ヲ實施後於

ル可ク速カニ結果ノ概要ヲ集團長ニ報告スルモノトス

ニ、査閲時期及査閲項目ノ選定ハ特ニ情況ニ適應スルヲ

要ス

要
 一、各隊、新設、及、修理、の、費用、を、計、算、し、て、報告、せよ。
 二、各隊、の、活動、の、記録、を、毎日、記、録、し、て、報告、せよ。
 三、各隊、の、隊、員、の、健康、を、毎日、検、査、し、て、報告、せよ。
 四、各隊、の、隊、員、の、教育、を、毎日、進、行、せよ。
 五、各隊、の、隊、員、の、訓練、を、毎日、進、行、せよ。

山、の、四、線、を、通過、し、て、通信、線、を、断、断、せ、し、て、断、線、せ、し、る、事、を、行、い、し、た。
 一、各隊、の、活動、の、記録、を、毎日、記、録、し、て、報告、せよ。
 二、各隊、の、隊、員、の、健康、を、毎日、検、査、し、て、報告、せよ。
 三、各隊、の、隊、員、の、教育、を、毎日、進、行、せよ。
 四、各隊、の、隊、員、の、訓練、を、毎日、進、行、せよ。

通信、線、を、断、断、せ、し、て、断、線、せ、し、る、事、を、行、い、し、た。

糧食命令第一二號

豊第五六四七部隊命令

八月二十日十八時

一、各隊、の、糧食、用、燃料、を、確保、し、て、作、業、に、用、滑、す、圖、を、行、い、し、た。
 二、各隊、の、活動、の、記録、を、毎日、記、録、し、て、報告、せよ。
 三、各隊、の、隊、員、の、健康、を、毎日、検、査、し、て、報告、せよ。
 四、各隊、の、隊、員、の、教育、を、毎日、進、行、せよ。
 五、各隊、の、隊、員、の、訓練、を、毎日、進、行、せよ。

- 自八月二十五日 第一大隊段列
- 自八月二十七日 第一大隊段列
- 自八月二十八日 第二大隊段列
- 自八月三十日 第二大隊段列
- 自八月三十一日 第二大隊段列
- 自九月二日 第二大隊段列

作、業、時、間、毎、日、八、時、三、十、七、分、迄、ト、シ、各、隊、列、ノ、搬、送、木、材、數、ハ、一、六、ロ、木、ト、ス。
 細、部、公、報、生、田、中、ノ、シ、テ、摘、示、セ、シ、ム。
 二、糧食命令第五號第五項ノ各隊段列ヲ以テスル燃料搬送ハ之ヲ取止ム。

南、部、隊、長、 梶、 大、 佐

下、邊、隊、長、 梶、 大、 佐

第十七狀 況

一 師團砲兵各隊ノ三日以來ノ戦闘準備ハ著々成果ヲ向上
ノ持テ志氣愈々昂揚シツクアリ
二 砲兵隊直協砲兵隊長ハ六日ニ奉命支隊射撃
ノ中ノ火力ヲ増加セシメ其迄盡テ命セ

砲兵隊命令

八月二十日 野原

- 一 集團公事總ノ急變備フルト共ニ全般直リ逐次長期駐留態勢ヲ整備ス
- 二 砲兵隊ハ集團ノ企圖ニ基キ長期駐留態勢ヲ整備セントス
- 三 各隊ノ軍紀風紀ノ整肅ト氣昂揚ヲ導録周知雖モ忘ルコトナク認書勅語ノ
聖旨顯現迄ノ遺懸ナキヲ期スルト共ニ別冊集團駐留態勢整備要綱並ニ砲
兵隊駐留態勢整備要領ヲ據リ長期駐留態勢ヲ整備スベシ

砲兵隊長 梶 大佐

下連法 六中隊長ニ奉テ印刷交付
配用先 六中隊長宛
提出先 世明隊

第二問題

推進觀測所(補助觀測所)の設置ノタメ作業人員ヲ如何ニ部署スヘキヤ

全トシテ觀測關係

砲兵隊命令第八號

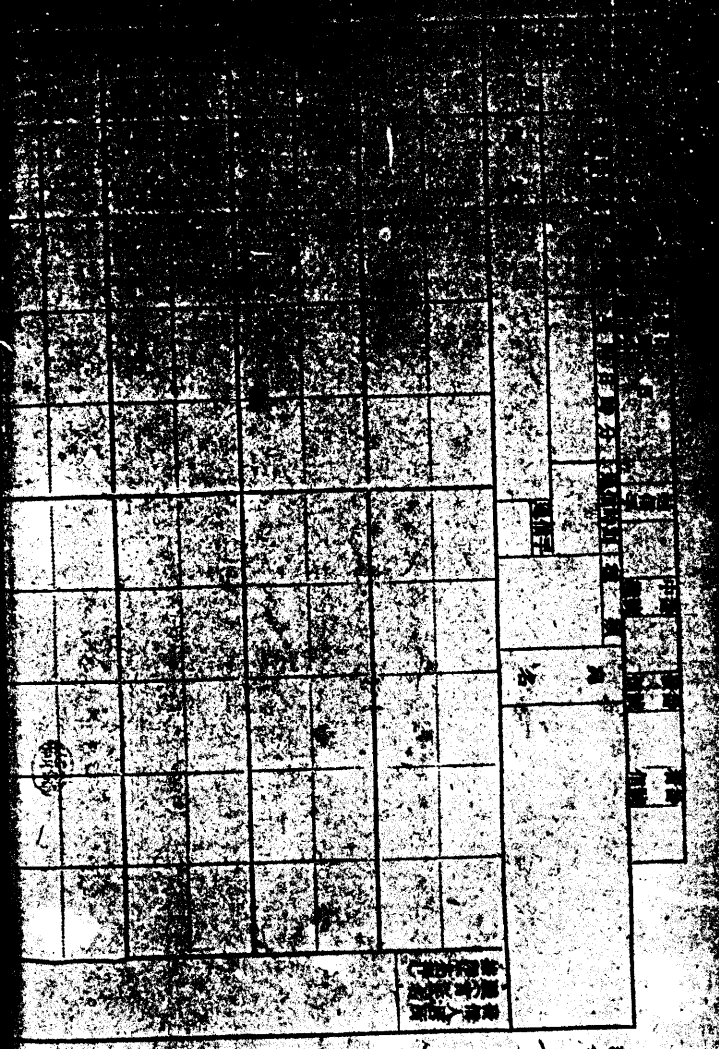
砲兵隊命令

八月二十四日 時

各隊ノ要領命令中第一五號集團命令ヲ以テ與ヘラレル一切ノ對敵作戰任務ヲ八月二十五日零時ヲ以テ解除セラレ
各隊ノ前項同時以降一切ノ對敵武力行使ヲ停止スベシ
但シ治安警備ニ關シテハ所要ニ應ジ關係地區隊長ノ區處ヲ受ケルモノトシ又必要止ム得サル場合ハ兵器使用ハ備成勤務令ニ準用スルモノトス
特設追擊隊ハ同時其ノ任務ヲ解ク爾後梶作命第一二四號ニ行動スベシ
各隊長ハ一兵至ル迄輕擊ヲ戒メ自國將來ノ興隆ヲ信シ隱忍自重スベキ旨ヲ徹底セシムベシ

砲兵隊長 梶 大佐

下達法 小隊長
配而五分 大隊長 中隊長



砲兵隊駐留應務整備要領

昭和二十一年八月

第一 方針

砲兵隊駐留應務整備要領
 第一 方針
 砲兵隊駐留應務整備要領は、砲兵隊の任務を遂行し、戦況に陸軍大臣其ノ他上司ノ訓示ヲ體シ、軍紀風紀ノ整頓、士氣ノ昂揚ノ圖リ將兵ノ体力ヲ増強シ、軍固ナリ月結ノ下軍民一體トナリ皇軍並ニ皇國ニシテタルノ矜持ヲ堅持シ先ヅ自給ノ充實ヲ期シ治安ヲ確保シ何時ニテモ士氣ノ急變ニ應ジ得ル如ク駐留態勢ヲ整備ス

第二 警備及治安維持

- 一 各大隊部隊衛兵ハ特ニ兵器、彈藥、燃料ノ監視保全ニ萬全ヲ期スル如ク任務ヲ附與ス
- 一 水際ニ位置スル各連軍砲台ハ時々巡視ヲ派遣シ不逞者ノ出入ヲ取締ルモノトス
- 一 巡察將校、各衛兵ハ所屬ニ應ジ取寄リ、他部隊砲台ノ附近ニ連絡シ治安ヲ確保シ協力スルモノトス

補給隊教育(奉天支隊)ノ如シ

射行教育(平吉線隊)陣頭指揮(研習努力)

教育法(戰鬥活用)ノ教練ニ般教育ノノ課目ノ指導要領(精神)

(別紙)

課種作業(現況ニ即シテ吹奏ナル義務用種)

會同研究(現況ニ即シテ吹奏ナル義務用種)

口教育用數

各大隊ハ將校個人ニ對シテ教育法(普通各人)一回(課種作業)毎月

各人ニ回ノ用途トシテ行テ(外每週少クモ一回ノ集合教育ヲ行テ)

モトス

師隊教育ハ月行事表ヲ以テ示ス

其ノ他

師隊ニテ行テ(統制會)モトシ

技藝(手榴彈投擲)ハ統制會(別紙)

各大隊ハ師隊統制會ニ即應(前項各種統制會)施行シテ執

事場ト團結シ學化ニ努ムルモノトス

又(火砲)實射ニ就キハ別ニ示ス

又(一般)教育計畫ハ三月毎ニ之ヲ實施ス

又(四)陣地(並ニ)宿營

一、陣地(並ニ)宿營(一週)一回(巡察)將校ヲ派遣シ之ガ保全ト爲セ(萬分)期ス

二、主抵抗陣地ハ常ニ補修スルモノトシテ(新)增強セ(之ガ)速ク陣地ヲ

離レ宿營スル場合ハ前項ニ準ジ巡察將校ヲ派遣ス

三、各隊ハ補修擔任ノ軍路ヲ極力補修ス

四、各隊ノ宿營地ハ保育衛生ヲ持ニシ(リヤ)對策)ヲ主トシ且(軍紀)

風紀)維持(統制)警備等ヲ考慮シテ選定スルモノトス

第五 防禦及 宣傳

一、防禦

機密(書類)ヲ迅速ニ短時間(處理)スル準備ヲ八月二十五日迄ニ